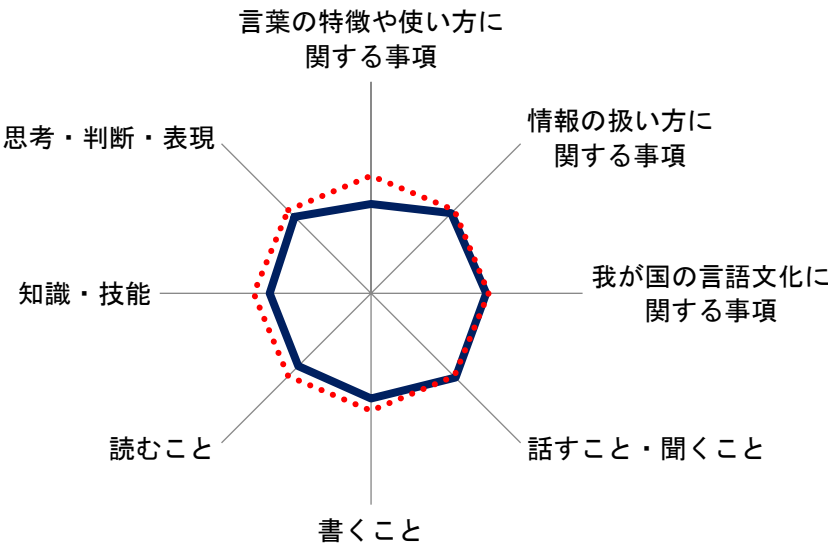


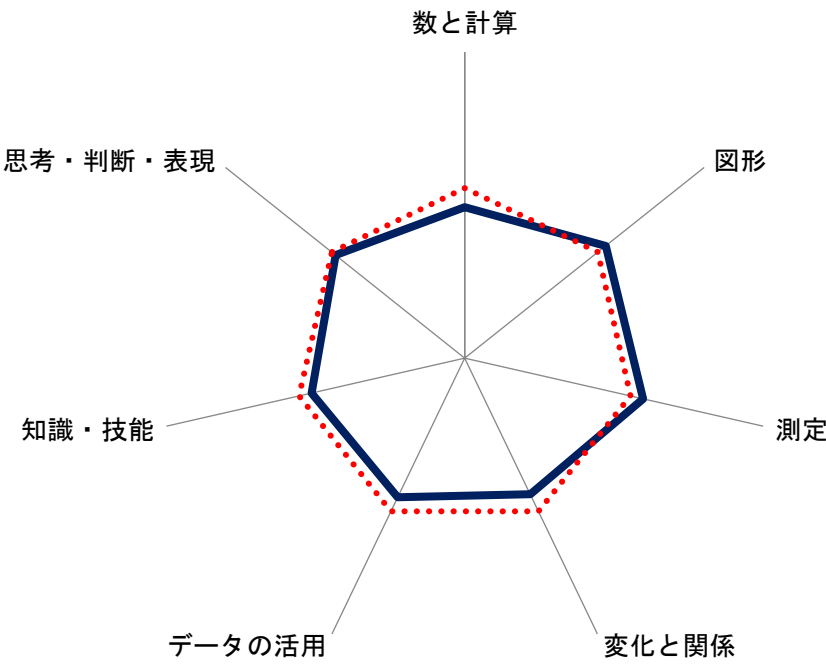
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均

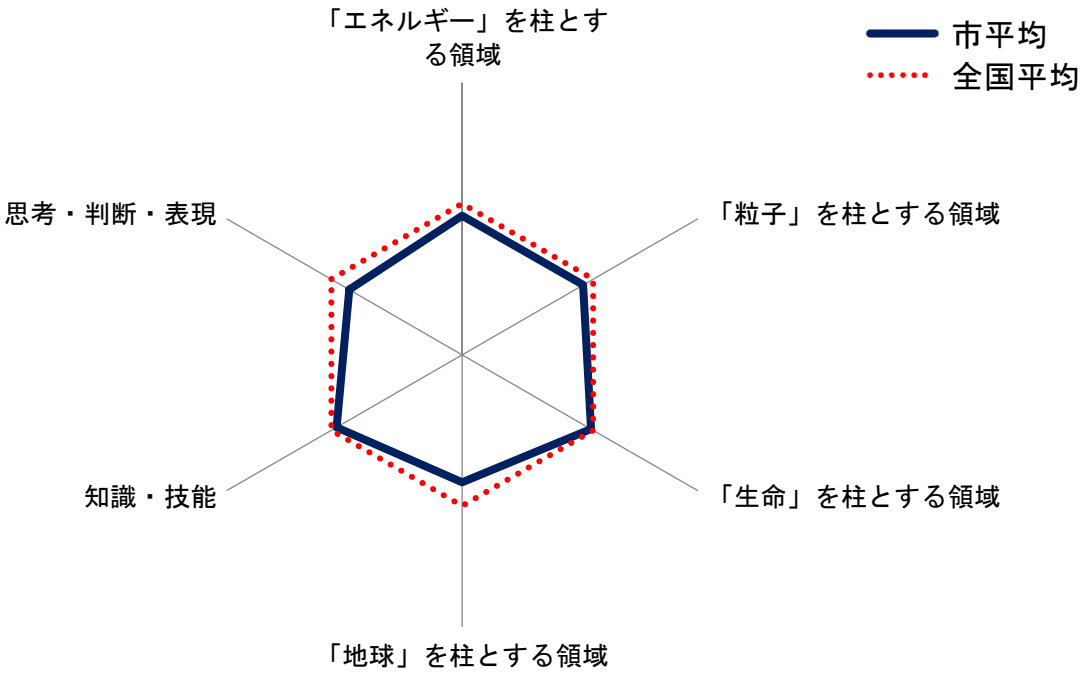


【算数】

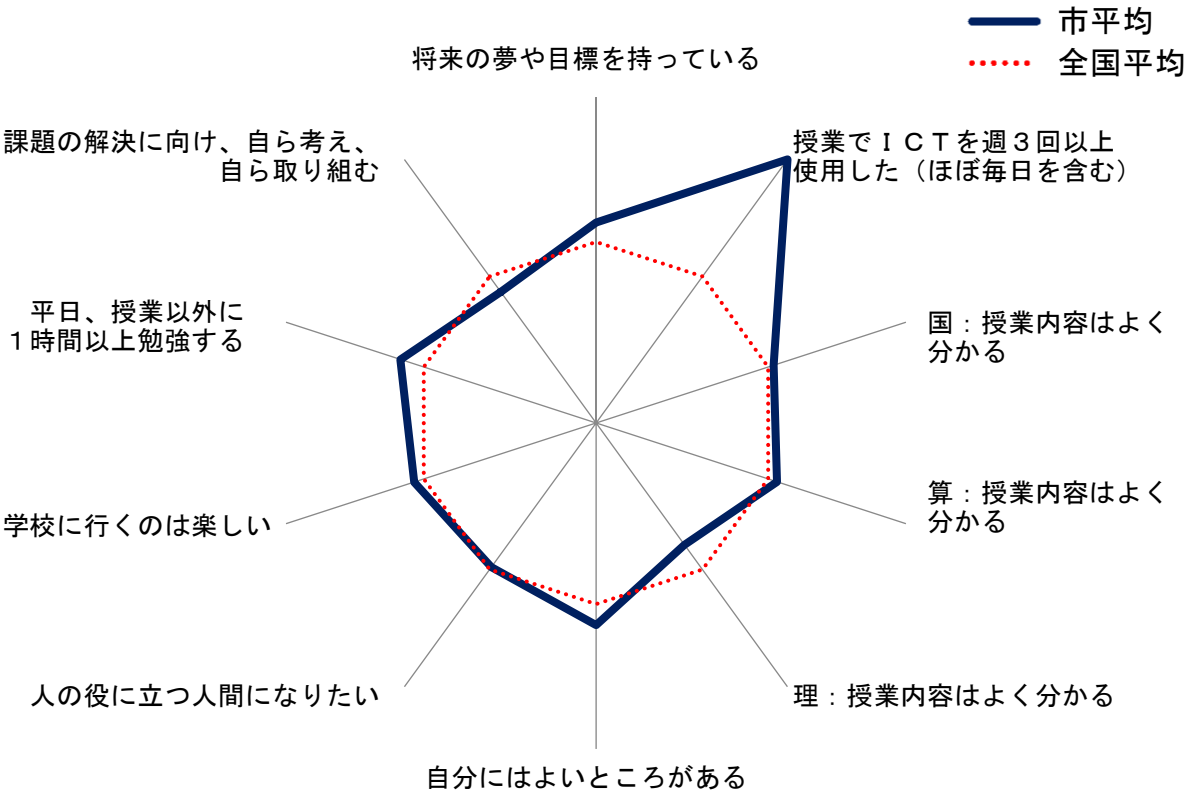


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数の「図形」「測定」の項目が全国平均よりやや上回っているものの、国語、算数、理科のほとんどの項目が全国平均とほぼ同じか下回っている。特に、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」「知識・技能」の項目や理科の「思考・判断・表現」の項目は、全国平均との差が大きく、課題である。今後も、市が取り組んでいる、思考の深まりを目指す「学びあい学習」を核に据え、ICTを効果的に活用した協働的な学びを推進し、主体的に課題を解決するために必要な資質・能力を育成する教育活動を推進することが望まれる。

児童質問調査では、「自分にはよいところがある」の項目に昨年度から改善が見られるとともに、「将来の夢や目標を持っている」「学校に行くのは楽しい」の項目が引き続き全国平均を上回っており、良好な結果が続いている。また、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目も引き続き全国平均を大きく上回っており、ICTを活用した学習活動が推進されている成果がうかがえる。一方、理科の「授業内容はよく分かる」「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」の項目が全国平均を下回っており、課題が見られる。今後は、児童の学力向上につながるICTの効果的な活用の在り方を検討し、児童が主体的に学びを進めることができる教育活動を推進することが望まれる。